

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

すべての人と共に、やすらぎと希望にみちた空間を創造する。

連結売上高
2,500億円連結営業利益
270億円連結売上高
2,100億円連結営業利益
190億円

② 中長期の経営戦略

1. スペースクリエーション企業への転換

デザイン力とクリエイティビティによる4つの機能（空間デザイン提案・スペース材料提供・物流・施工）の強化と連携でソリューション提案力を高める。

3. 人的資本・デジタル資本の強化

次世代事業の探索・創出を支える人的資本とデジタル資本を基盤として、経営資本を高度化。

2. 中核事業の深化・変革

インテリア・エクステリア・海外・空間総合の4事業における専門人材確保と商品ポートフォリオ拡充を推進。

4. 次世代事業の探索・創出

スペースオペレーションを含む新事業の可能性を検討し、未来の市場に備える事業展開を構築。

③ 対処すべき課題

① 市場縮小への対応

- ・日本では人口減・高齢化により新築住宅市場が想定より縮小傾向
- ・大都市圏インバウンド需要やオフィス需要、地方新工場など特定市場での需要伸長を機会化

② 収益基盤の強化

- ・国内インテリアセグメントは拡大一方、国内エクステリア・海外セグメントの収益貢献が限定的
- ・グループ会社含め販管費増大が先行、収益への貢献が遅れている
- ・空間総合事業が当初想定の時間軸での成長に至っていない

③ 人材・供給体制の課題

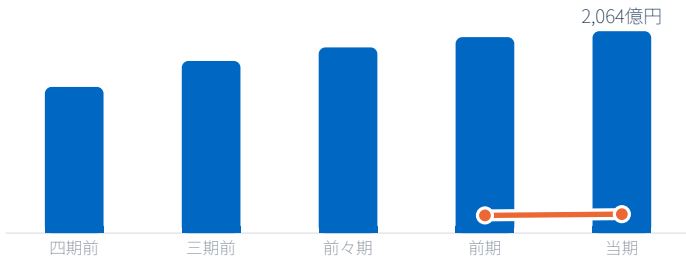
- ・製造・物流・施工の人手不足が継続
- ・海外・エクステリア・空間総合事業における専門人材が不足
- ・原材料費・物流費・人件費が継続的に上昇

面接で使えるポイント

- ・1849年創業から2024年度の連結営業利益181.7億円まで成長。
- ・2030年度売上高2,500億円、営業利益270億円を長期ビジョン目標に、人的資本とデジタル資本を経営の根幹として強化。
- ・インクルーシブ・サステナブル・エンjoyイアブルな社会実現に向けて…

証券コード 8130

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,064億円営業利益率
9.4%財務健康度
63点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 62.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
788万円

卸売業内 69位/282社

平均年齢
38.0歳

卸売業内 265位/283社

平均勤続
15.3年

卸売業内 85位/282社

女性管理職
20.1%

卸売業内 20位/209社

男性育休
100.0%

卸売業内 46位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考:「ウェルビーイングな場づくり・人づくり」を体感できる特別セミ

